

南消防署 化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）仕様書

第1 総則

1 仕様

本仕様書は、吹田市消防本部（以下「当本部」という。）が、令和7年度消防車両更新事業として購入する、化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）（以下「化学車」という。）の仕様について定める。

2 関係法規

この化学車は、本仕様書に定めるものの他、道路運送車両法等関係法規に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

3 承認図

当本部との契約業者（以下「艀装業者」という。）は、化学車のシャシ及びポンプ等艀装製作にあたり、下記の書類を承認図として当本部へA4ファイル綴りで2部提出し、承認を受けたのち製作を開始すること。

なお、承認図提出前に当本部と製作車両の艀装について十分協議し、当本部の仕様を十分に反映させること。

（1）シャシ及びポンプ等艀装製作工程表

（2）一般艀装図シャシ及びポンプ等艀装

ア）五面図「正面・左右側面・後面・上面」

イ）ボックス内艀装図・配置図

ウ）オーバーヘッド・センターコンソール取付艀装図・配置図

エ）キャブ内艀装図・配置図

オ）キャブバック艀装図・配置図

カ）車体組立図（補強材料及び組立寸法図）

（3）ポンプ組立図

（4）ポンプ架装図

（5）配管系統図

（6）電気系統図

（7）軌跡図

（8）艀装諸元明細書

（9）積載資機材一覧表及び重量表

（10）ホースカー図面

（11）その他当本部の要求する書類

4 疑義

本仕様書並びに製作中に疑義が生じた場合は、早急に当本部の指示を受け処置すること。

5 車両管理

艀装業者は、納車するまでシャシ納入業者と連絡を密にして十分な打合せを行い、相互協力のうえ工事の円滑を図ること。

また、車両の管理には細心の注意をはらうこと。車両の管理中に不都合な箇所が発生した場合は、早急に原状回復させるとともに当本部へ報告すること。

6 留意点

製作にあたっては、特に次の点に注意すること。

- (1) 軽量、頑丈、優美であること。
- (2) 積載品は、取付け取外し、収納及び取り出しが容易に行えること。
- (3) 艀装製作全般にわたり、厳重検査を実施すること。
- (4) 本仕様書で明記していない箇所で、艀装するうえで当然すべきことは、艀装業者で責任を持って実施すること。
- (5) 同等品以上を使用する場合は、質疑期間中に機種本体及び仕様を示す資料を当本部に掲示し、審査を受けること。同等品の解釈は当本部の判断によるものとする。

7 検査

艀装業者は、当本部が実施する下記の検査に立ち会い、検査において不都合な箇所を発見の際は、速やかに処置すること。

なお、検査に係る一切の費用を負担すること。検査は当本部の検査員が2名から4名で実施するものとする。

- (1) 中間検査 シャシ艀装、ポンプ等艀装
- (2) 完成検査 シャシ艀装、ポンプ等艀装

8 責任の所在

設計、製作材料等について、特許、その他権利上の問題が起こったときは、艀装業者がその責任を負うこと。

また、納入後に発生した艀装箇所の不具合についても、シャシ側、艀装側を問わず艀装業者が一切の責任を負うこと。

9 新規登録検査

完成車両を大阪陸運支局の検査に合格後、燃料タンク及びアドブルーを満量にして当市へ納入すること。車両登録番号は、「210」とすること。

なお、艀装業者はシャシ納入業者と協力して新規登録に関する事務の一切を行うこと。

10 保証

保証期間は、シャシ、ポンプ本体及び真空ポンプ等の重要機構は納入後2か年以上、その他は1か年以上とする。

ただし、設計不良、材質等に起因する不都合な箇所を発見の際は、保証期間後であっても無償にて取替え又は修理を行うこと。

11 提出書類

完成車納入の際は、次の書類を提出すること。

(10) から (13) までは除く書類については、A4サイズのパイル1冊(2部)に綴り当本部へ提出すること。

- | | |
|--------------|----|
| (1) 自動車改造計算書 | 2部 |
| (2) 車両取扱説明書 | 2部 |

- | | |
|--|-----|
| (3) 自動車検査証の写し | 2 部 |
| (4) 完成車写真 | 2 部 |
| (A 4 紙 1 枚に前後 (ナンバープレート入り)・左右・の写真 4 枚を収め
カラー印刷したもの) | |
| (5) 消防ポンプ自動車受託試験合格証の写し | 2 部 |
| (6) ポンプ性能試験成績表 | 2 部 |
| (7) 艀装工程写真 (完成まで) | 2 部 |
| (8) 構造及び取扱い説明書 | 2 部 |
| (9) 構造及び取扱い説明 | 2 部 |
| (10) 納品書 | 1 部 |
| (11) 納品内訳明細書 | 1 部 |
| (12) 請求書 | 1 部 |
| (13) 請求内訳明細書 | 1 部 |
| (14) 各種資器材取扱い説明書等 | 2 部 |

(取扱説明書が無い場合は、カタログ等で諸元が記載されているもの)

- (15) その他当本部の要求する書類

12 納入期限、納入場所及び支払

納入期限は、令和 9 年 3 月 3 1 日 (水) とする。納入場所は、当本部が別途指示する。

また、支払については納入検査合格及び必要な手続き完了後、令和 8 年度に書面により代金の請求を受け取ってから 3 0 日以内に一括で支払う。

13 その他

- (1) 本仕様書に明記されていない点は、各業者公表の標準仕様とすること。
- (2) 納車日から 1 週間以内に、シャシ取扱い説明を 2 回以上、艀装等の取扱い説明 2 回以上実施するほか、納入資器材で当本部が取扱い説明を必要とするものについても実施すること。

なお、資器材の取扱い説明については、当本部の車両運行開始日までに艀装業者が資器材納入業者と調整を行い実施するものとする。

第 2 概要

本車両は、下記のシャシにアルミ製 1 段ボリュートポンプ又は、2 段バランスタービンポンプ (インデューサー付き) の 1500L 水槽、ホース延長用資機材を装備し、河川、消火栓等の水利より強力な放水をなし、火災現場の状況に応じて放水を行うことが出来るものとする。また、油類消火装置は 500L の原液槽を装備し、水と原液の混合にはポンププロポーションナーを用い、発泡管鎗により消火用泡を吐出できるものとする。

第 3 仕様シャシ

- 1 消防車専用シャシ（5.5 t 級・ダブルキャビンオーバー型）
- 2 車両総重量：11 t 未満
- 3 ホイルベース：3790mm 以上
- 4 トランスミッション：オートマチック
- 5 乗員人員：6 名（前部 2 名、後部 4 名）
- 6 PTO：水ポンプ用 PTO
- 7 バッテリー：車載可能な最高容量 2 個（引出式）
- 8 オルタネーター：24V-90A 以上
- 9 走行装置：2WD
- 10 排気量：5123 cc 以上
- 11 最高出力：240PS 以上
- 12 安全装置：ABS 装置 エアバック（運転席）
- 13 タイヤ：適正サイズ ラジアルタイヤ「マッド&スノー」 アルミホイール
- 14 スペアタイヤ：アルミホイール付き ラジアルタイヤ「マッド&スノー」1 本
- 15 サスペンション：フロント強化バネ+スタビライザー、リヤ強化バネ
- 16 チルト装置：電動油圧式
- 17 フロントバンパー：アルミ縞板張り
- 18 ヘッドライト：LED（デイライト付）
- 19 フォグランプ：ホワイト ヘッドライト一体型
- 20 後退警報器：ブザー式（ON/OFF スイッチ付）
- 21 集中ドアロック：1 式
- 22 ドアミラー：助手席側電動格納式
- 23 オイルパンヒーター：キャブタイヤコード 15m 1 本付き
- 24 エアコン：純正品
- 25 サイドバイザー：キャブ各ドア上部
- 26 泥除けたれゴム：全輪
- 27 標準工具：1 式
- 28 オイルジャッキ：1 式
- 29 非常信号灯：1 式
- 30 バックアイカメラ：メーカー最新型
- 31 ドライブレコーダー Driveman PS-2 タイプ 2（SD カード脱着式モデル）
- 32 バックトーク：ギアをバックに入れた際に自動作動
- 33 その他：メーカー標準装備品及び機能上必要な物品等

第4 水ポンプ装置

- 1 水ポンプ（日本消防検定協会による受託評価の品質評価合格品）

ポンプ型式	1 段ボリュート又は2 段バランスタービンポンプ
ポンプ性能	A-2 級
	放水静圧力 0.85MPa において放水量 2,200L/min 以
	放水静圧力 1.40MPa において放水量 1,900L/min 以

- 2 水ポンプは、シャシエンジンの P. T. O (パワーテイクオフ) により駆動され、P. T. O の操作は運転席に設けられたスイッチまたはレバーにより行うものとする。
- 3 グランド部はメンテナンスフリーメカニカルシール又はグランドパッキン方式とする

第5 真空ポンプ

- 1 真空ポンプはピストン又は偏心ロータリー無給式とすること。
- 2 真空ポンプ本体は注油装置を必要としない完全オイルレス構造とする。
- 3 動力の接・断は電磁クラッチによる構造とし、動力伝達については歯付ベルトによりスムーズな伝達が行えること。

第6 冷却水装置

- 1 ギヤケース、補助クーラーへの配管は、一系統にまとめバルブ又はコックで調整できること。
- 2 予備回路を設け、通常及び予備それぞれストレーナーを備えるものとする。
- 3 冷却水を外部へ放出せず、水槽へ還流させること。また、自然水利を揚水した場合水槽へゴミが浸入しないようコック操作により外部へ放出できる構造とする。

第7 安全機能装置付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は操作員が容易に且つ安全にポンプ操作が行える様、次の機能を有するものとする。

- 1 圧力計・連成計（リタード式・透過光照明灯）は機械式又は電子式とし、振動等でも針振れがない構造とする。
- 2 ポンプスロットルは電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。
- 3 ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全機能を設ける。
- 4 ポンプ操作盤液晶ディスプレイは、液晶画面とし、各表示切換はパネルスイッチ式操作で左右とも行える構造とする。

- 5 ポンプ操作盤液晶ディスプレイの詳細は以下の通りとする。
- (1) モニタ表示（警告モニタとして冷却水及び真空形成装置作動タイムに対する警告表示ができ、尚且つ警報ブザーが鳴るようにすること。また、各ボールコックの開閉状況、揚水・放水の状況確認のできるモニタ表示、ポンプ回転計・流量計・積算流量計を各々デジタル数値により表示できるモニタ表示ができること。）
 - (2) 流水表示（各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。）
 - (3) 流量・積算表示（各吐出口の流用をデジタル表示し流量範囲によって表示色が変化すること。）
 - (4) タンク水量計（左右液晶ディスプレイに表示できること。）
 - (5) 緊急時エンジン回転数をワンタッチにてアイドリングまで下げる緊急時減圧スイッチを設けること。
 - (6) 非常時におけるスロットル操作はポンプ室右側に設けられた別回路の手動操作装置にて行えるものとし、非常用真空ポンプ操作は左右ポンプ室で手動操作を行えるようにすること。
- 6 ポンプ操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全機能を設ける。
- (1) スロットル固定機能
不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。但し、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作出来るものとする。
 - (2) 自動調圧機能
ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧力以下になった場合は設定圧力まで圧力を上昇させ、設定圧力以上になった場合は設定圧力まで圧力を下げる任意圧力安定機能、放水停止時及び緊急時等に押すとエンジン回転がアイドリングまで降下するアイドリング機能を設けること。

第8 吸水口

内径 75mm 以上のボールコックとし、電動吸管巻き取り装置及び車両左側に各 1 個設け、電動吸管巻き取り装置は車体に対して垂直方向にポンプ室後方に配置し、左右どちら側からでも容易に引出せ、バッテリーメインOFFの状態でも左右どちら側からでもロック及び解除ができる構造とする。

なお、吸管の取出しが容易に行えるよう吸管取出し口には金属製の三方ローラー及び巻き取り装置下部には金属製の補助ローラーを設けること。また、電動吸管巻き取り装置の吸管巻き取り速度は一定速度のものとする。

第9 放水口

放水口は、消防呼称 65mm ボールコックとし、車両両側に各 2 個設けること。

第 1 0 中継口

ポンプ室両側に各 1 個設けること。なお、左側は内径 65mm 以上のボールコックとし、右側には予備吸管を接続できるボールコック（エゼクター装置付）を取付けること。

なお、右側のボールコックには消火栓媒介金具を取り付け、常時中継口として運用するものとする。又、可能な限りアルミ製ボールコックを使用すること。

第 1 1 水槽

- 1 水槽は FRP 又はポリプロピレン製角型タンクとし、取付位置はポンプ室後部とする。容量は 1,500L とし、内部には必要に応じて防波板を設けること。
- 2 水槽左右側面付近に水管式水量計を設けること。また、電子水量計も設け車体両側の液晶モニターにて容易に確認できるものとする。なお、電子水量計表示は P T O が入っていない状態でも常に（艀装メイン ON 時）液晶モニターにて確認できるものとする。
- 3 水槽には補給口（65 mm 差込メス金具・タンク停止弁付）を左右フェンダー内に各 1 箇所設けること。水槽への水の補給条件（送水圧力 0.3MPa）を表示すること。
- 4 水槽下部にはドレン、上部にオーバーフローおよびマンホールを設ける。
- 5 水槽とポンプの給水側との間に 75mm ボールコックを設け、逆流によるウォーターハンマーから水槽を保護するため、タンク吸水コックは電動コックを使用し、吸水口及び中継口とタンク吸水コックが同時に開かないよう制御し、車両両側より開閉可能な構造とすること。また、ポンプの吐水側から水槽へ送水出来る構造とする。
- 6 水槽水取出口を左右補給口付近に各 1 箇所設けること。

第 1 2 原液槽

- 1 原液槽は FRP 又はポリプロピレン製角型タンクとし、取付位置は水槽前方とする。容量は 500L（250L×2 槽）とし、その内の 1 槽を水槽と連結させることで水槽容量 1,750L として運用できる構造とする。
- 2 原液槽には、マンホールおよび真空弁、ドレン、液量計等を設けること。

第 1 3 混合方式（ポンププロポーショナー方式）

- 1 ポンプの吐出側と吸入側との配管にバルブ及びポンププロポーショナーを設けること。
また、ポンププロポーショナーのメタリングバルブと原液槽を結ぶ配管にもバルブを設けること。

- 2 原液専用配管の材質はステンレス鋼管を用い、バルブ類は砲金製とする。
- 3 混合比は、メタリングバルブにより調節出来るものとし、混合液量範囲 500L/min～1,200L/min とする。(3%、6%併用)
- 4 洗浄が容易にできる構造とする。
- 5 泡消火液操作に番号打ち及び操作要領名盤を取付すること。

第 1 4 放水銃

- 1 ポンプ室上部付近にクロスファイヤー放水銃(株ヨネ製)を配管固定式で設け、ノズルはマックスフォースノズルを取り付けること。
 - (1) マックスフォースノズル
 - (2) モニター本体
 - (3) 伸縮パイプ (450 mm)
 - (4) ポータブルベース (固定基部)
 - (5) ポータブルベース収納ブラケット
 - (6) マックスフォースノズル用泡ノズルアタッチメント
- 2 放水銃及び開閉用コックの取り付け位置は、別途指示する。
- 3 配管用ドレンバルブを設け、残水が確実に処理できること。
- 4 水放水及び泡放水の放水が可能であること。

第 1 5 自衛噴霧装置

火災現場等に接近して消火作業が可能な様に、ボデー部左右に各 3 個以上の自衛噴霧ノズルを設ける。

第 1 6 キャブの構造

- 1 キャブの上部は、ハイルーフ仕様としキャブバックを張り出すこと。上部のアルミ縞板鋼板には、4 辺にステンレス製 1 段手摺り又は D 環フックを取り付け、任意で取り付けができる固定具を設けること。(仕様、材質、数量は別途協議する。) ハイルーフ材質は車両の安定性・軽量化・防錆を考慮して FRP 製とする。
- 2 赤色警光灯はキャブと一体型とし、赤色警光灯は、省電力、球切れのない LED 式を内蔵すること。スピーカーはキャブ内の無線通話の妨げにならないようにスピーカーをキャブ前方中央部にキャブ一体型にて収納すること。また、モーターサイレン 1 個をキャブ前方中央部にキャブ一体型として収納すること。標識灯はハイルーフ部左右に取付けること。キャブ左右側面にキャブ一体のキャブバックパネルを垂直に立上げ加工し、シートライザーの純正位置より更に後方移動を可能とし、キャブ内後部座席スペースが広く取れるようにすること。

3 キャブ内天井は、後部席部の内部床面から天井までの高さ（床及び天井内装材の内法とする。）は180cm以上確保し、起立状態で呼吸器の脱着等の着替えができるようにすること。

また、現場到着時に必要な資機材や他の資機材と混載することで支障の恐れのある救急用及び医療用資機材の収納スペースとして、後部座席上部前後に物入れボックスを取付けること。ボックスは、着座時、立位時の何れにおいても支障のない棚を設けること。なお、棚の手前側には収納物の飛び出し防止措置を講じること。各装置の電装品スイッチは、運転席中央付近のセンターコンソールボックスに取付け、操作が容易に行えるものとする。（無線機及び指令端末装置の取付けは業者と十分に協議すること。）

4 後部座席は座席跳ね上げ式の折畳シート（シートライザーは薄型・扉付）とし、座席後方にはダブルツールボックスを設けること。また、後部座席後方に呼吸器固定装置（ウォーカーウェイ）を4基取付けし、面体掛けフックを4個取付けること。

5 助手席には空気呼吸器内蔵シート（レスキューシート）を取付けること。

6 座席シートには全て飛鳥車体制シートカバーを取付けること。

7 キャブ内中央手摺部に吊り下げ式の図書類収納ボックス（A-3サイズ）を1個設ける。尚、手すりにはS字フックを6個設けること。

8 助手席フロントピラー付近及び左右のセンターピラー付近にそれぞれマップランプ（LED灯）を設置する。

9 キャブ内には、携帯拡声器1個の取付装置（収納スペース）を設ける。

10 インバーター（700W程度）を取付け、AC100Vコンセントをセンターコンソールボックス付近へ2口取付けること。

11 キャブ室内後席天井に室内灯（角型LED灯）を設ける。スイッチは3段切り替え式（ON・OFF・ドア連動）とする。

12 キャブ上部左側に旗立てパイプを取付けること。

13 キャブドアは4ドア式とし、各ドア部には乗降用手摺棒を取付けること。

14 キャブ後部ステップはワイドステップ（グレーチング）とすること。（別途協議）

15 バッテリーにはアルミ縞板製カバーを取付けること。

16 各ドアに樹脂製サイドバイザーを取付けること。

17 消防章（直径約150mm）を車体前面に取り付けること。

18 室内照明はキャブ内天井に埋め込み式でLED照明灯を取り付けること。

19 キャブ左後方に旗立てパイプ（水抜き、ロック付き）を設けること。

第17 ホースカー及び積載方法

1 ホースカー（詳細別途協議）

(1) ホースカーは、65mmホースが6本以上積載できる制動装置付きのものとする。

ること。

- (2) 内側に防水カバー（取外しできるもの）を取付けること。
- (3) 上部は資器材が搬送できるように周囲に枠を付け、固定装置を設け、容易に取外しができること。
- (4) e ノズル 65 mm 管そう 1 本、分岐管 2 式を取付けすること。
- (5) ホース積載時に水平を保てるよう折り畳み脚を備えること。
- (6) 後部シャッター内の上部収納庫を考慮し、10(1)ア) からエ) を満たすことができる軽量ホースカーとすること。

2 積載方法

- (1) 車体後部に加納式で積載すること。
- (2) 傾斜等であっても、引っ掛かり等なく容易に取出し収納できること。
- (3) 運転席及び車体後方でホースカーの収納等が確認できる、安全対策（警報装置等）を講じること。

第 18 オイルパンヒーター及び小型充電器（位置等は別途指示）

1 オイルパンヒーター及び小型充電器を設置すること。

オイルパンヒーターコード接続により、交流電源がオイルパン及び小型充電器へ通電できるよう艤装すること。

また、小型充電器とバッテリーを接続し、オイルパンヒーターコード接続時にバッテリーが充電できるようにすること。

- 2 オイルパンヒーターコードの差込口は蓋付のボックスとし、マグネットにより脱着できるように改造すること。コードについては、15 m のものとする。
- 3 コードは漏電、感電しない構造とし、コードの自重で脱落しない構造とすること。
- 4 オイルパンヒーターコード接続時に、オイルパン及び小型充電器へ通電していることを確認できるランプをそれぞれ運転席付近に設け、容易に視認できるものとする。

第 19 車両の構造

1 車両の完成寸法は、次の通りとする。

- (1) 全長 : 7300 mm 以下
- (2) 全幅 : 2400 mm 以下
- (3) 全高 : 3200 mm 以下

2 車体の構造は、両側面各 3 面及び後面 1 面計 7 面のシャッターを設けたオールシヤッター構造とする。

3 当車両の艤装については、堅牢で防錆、防水性、機動性、耐久性、耐食性が十分にあるように製作すること。また、車体の主要構造体であるサブフレームは鋼鉄製

とし、それ以外の車体フレーム等は全て総合的な重量軽減を図るとともに、車両の重量バランスにも配慮すること。

- 4 各ステップはアルミ縞鋼板とする。また、ポンプ室天井、水槽上面および水槽後部のシャッターボックス上面は縞板製とする。
- 5 車体天井は活動に支障が無いよう水槽上部にもアルミ縞板にて天井を設け、可能な限りフラットな構造とすること。但し、マンホール部は扉を設け、メンテナンスが行えること。
- 6 車体前部左右はポンプ室、後部左右・車体後面は資機材収納スペースとする。扉はアルミシャッターとし、左右に各 3 枚、後面に 1 枚設けること。
- 7 ポンプ室側板は開放式とし、点検手入れが容易に行える構造とする。
- 8 ポンプ室下部左右及び後輪後部は収納スペースとし、完全チェーンレス式ステップ兼用扉を設け、扉内側はアルミ縞板張りとする。
- 9 後輪フェンダー部は展開でき、内側はアルミ縞板を張り、ステップとして兼用出来るものとする。
- 10 車体両側板は嵩上げ加工を施し、シャッター内の開口面積を最大限確保するため、シャッターの巻取り装置は嵩上げ部分にすべて隠蔽する構造とし、赤色点滅灯、周囲照明灯を設けること。車両上面への昇降、作業の安全性を確保する為、必要箇所に手摺を設けること。車両後部からの昇降性を加味し、後部の手摺は斜めに取り付けること。(別途協議)
- 11 キャブと車体との間の左側面には、上面への昇降用としてステンレス製はしごを設けること。上部は上面よりも高く設け、安全を確保すること。
- 12 車両後面には上面への昇降用として、アルミ製展開式はしごを設けること。
- 13 燃料タンクは 100L とし、ポンプ室内に設け、補給口はポンプ室側面に設けること。
- 14 牽引フックを車両前部に設けること。
- 15 3 連はしごの積載装置は車体上面に設け、引出転回式にて地上からはしごの取り外しが可能な構造とする。引出転回操作は、地上から行えること。
- 16 車体天井部にアルミ縞板製収納ボックスを 1 個取り付けること。(サイズ別途協議)
- 17 左右リヤフェンダー上シャッターボックス内はスライド棚を各 1 枚設け、ホースが収納できる構造とする。手前には飛出し防止措置を施すこと。
- 18 左右側面後方シャッターボックス内はスライド棚を各 2 枚設け、別表の資機材を収納すること。収納位置等別途協議とする。
- 19 空気呼吸器予備ポンペを 4 本収納すること。
- 20 左右ポンプ室操作部には、LED 式照明灯を設けること。
- 21 各収納室内には、LED 式照明灯を必要数設け、ドアの開閉に連動して作動する

こと。

- 22 赤色点滅灯をフロントパネル部に 2 個、後面に 2 個、左右側面に各 2 個取り付けること。
- 23 LED 作業灯を左右側面に各 2 個、後面に 2 個取り付けること。
- 24 左右展開ステップの厚み部に赤色 LED 点滅灯を埋め込むこと。スイッチは、ステップ展開に連動して作動すること。(別途協議)
- 25 LED 路肩灯、LED 車幅灯を左右後輪前方に取付けること。スイッチはスモールライト連動とすること。
- 26 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称および操作方法等を明記すること。
- 27 車体上部に照明灯（フラッシュボーイ LED）を手動伸縮柱（フラッシュポール 全長 1000 mm 程度）で取付けること。伸縮柱は、車体キャブ右後方下部より伸縮及び角度調整可能なものとする。また、ステッカー等で注意事項等を明示すること。

第 20 無線電話装置・AVM 装置

更新前車両（中型）から車載無線電話装置等を取外し、当車両に取付けること。

また、当本部及び当本部の指定する無線電話装置工事業者と調整し適正に取付けるよう配慮すること。

第 21 指令端末装置

更新前車両から指令端末装置等を取外し、当車両に取付けること。

また、当本部及び当本部の指定する指令端末装置工事業者と調整し適正に取付けるよう配慮すること。

なお、艀装業者は、無線電話装置・指令端末装置を適正に取付けるため各業者に作業日程の調整を行うとともに、事前に電源及び配線等について打合せ及び調整をすること。

第 22 塗装

- 1 車両は朱色とし、十分に素地調整を行った後、防錆加工を施し、入念に 3 回以上吹きつけ、磨き、つやだし仕上げを行うこと。
- 2 各ステップはアルミ縞板の場合、地色とすること。
- 3 アルミ縞板は、地色とすること。
- 4 アルミ水槽又はステンレス水槽の場合、水槽内面は亜鉛メタリコン処理とする。
- 5 車両下回りは黒色塗装とすること。
- 6 ポンプ操作部は赤色塗装とすること。
- 7 ボックス内はシルバー塗装とすること。

- 8 ポンプ本体及び配管・ボールコックは赤色塗装とすること。
- 9 シャッターは赤色塗装とする。
- 10 車両左右および標識灯には指定の文字を記入する。詳細は別途打合せとする。

第23 文字記入（詳細別途協議）

文字はすべて左から右書きとすること。車両納入前に、ステッカーの剥がれ等がないことを入念に確認すること。

また、使用後もステッカーの剥がれが発生しないような貼付けとすること。

使用する部材は再帰性に富んだ反射材とし、夜間の車体電源喪失時に自車の視認性が確保できるようにすること。

1 キャブ左右

後側ドア窓枠上側に「S U I T A F I R E D E P T .」（赤色反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし）、後側ドア窓枠下側に「吹田市消防本部」（白色反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし）、下部後方に当本部が指示する文字（白色反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし）を表示し、前側ドアに当本部が支給するロゴマークを貼付けすること。

2 車両正面

上部に「S U I T A F I R E D E P T .」（白色反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし）、運転席側に当本部が指示する文字（白色反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし）、助手席側に「吹田消防」（白色反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし）を表示すること。

3 車両後部

当本部が指示するデザインで、「吹田市消防本部」、「S U I T A F I R E D E P T .」、「O S A K A」、当本部が指示する文字（白色縁赤色反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし）を表示すること。

4 車両左右側面

アルミシャッター全面には「SラインU I T A F . D .」（白枠塗りつぶしなし反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし・デザインは別途指示）、（白色反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし）を表示すること。

また、指示する箇所にライン（赤色反射）を表示すること。

5 キャブ上部

「大阪吹田化学」（白色カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし）をできる限り大きく表示すること。

第24 補助規格取付品及び取付装置

品 名	規 格 ・ 形 状	数 量
-----	-----------	-----

1	ポンプ圧力計、連成計		各 2 器
2	赤色警光灯		
(1)	キャブ上部		1 式
	キャブ一体型赤色警告灯 (LED 赤色点滅灯左右に追加)		
	標識灯、スピーカー及びモーターサイレン内蔵型		
	(標識灯は白色とし、吹田市【黒丸ゴシック】と記入)		
(2)	フロントグリル		2 灯
	ウイレン社製 W I O N B R 2 4		
(3)	フロントバンパー (左右側面)		2 灯
	ウイレン社製 W I O N S M B R 2 4		
(4)	左右側面上部		4 灯
	ウイレン社製 M 6 F C R 2 4		
(5)	後部 (背面) 上部 (保護カバー付)		2 灯
	ウイレン社製 M 6 F C R 2 4		
3	サイレンアンプ	T S K - D 1 5 2 ・ Mark - D 1 (5 0 W)	1 式
		マイクロホン (MC - D 1 型、DX - 2 5 6 S)	各 1
4	照明灯	フラッシュボーイ LED S P - Q 1 4 LED	
		防護ガード、カラーフィルター付	1 式
		(手動伸縮柱フラッシュボーイポール全長 1000mm 程度)	
5	エンジン回転計		1 式
6	エンジン油温計		1 式
7	後退警報器	切断スイッチ付	1 式
8	電動サイレン	モーターサイレン (足踏み・ボタン式) 5 S A	1 式
9	ポンプ操作装置	液晶ディスプレイ式	2 式
		(ポンプ回転計、流量計、積算流量計含む)	
10	キャブチルト装置	電動式 (安全装置含む)	1 式
11	オイルパンヒーター	車外マグネットコンセント・コード 1.5 m 付	1 式
12	不凍液注入装置	色水装置兼用	1 式
13	車外無線送話機取出口	蓋裏側ホワイトボード付 (ペン付)	2 式
14	作業灯		
(1)	左右側面上部		4 灯
	ウイレン社製 M 6 Z C 2 4		
(2)	後部 (背面) 上部 (保護カバー付)		2 灯
	ウイレン社製 M 6 Z C 2 4		
15	後輪照射灯	LED 式	2 灯
16	後端灯	LED 式 (左右上下)	4 灯

第25 補助規格附属品

品 名	備 考	数量
1 吸管	75mm以上×10mライフレックス吸管等	1本
	75mm以上×2.5mライフレックス吸管等	4本
2 吸口ストレーナ		2個
3 吸管ストレーナ	ワンタッチ式、ネジ式	2個
4 吸管ちりよけ籠	樹脂製	2個
5 吸管まくら木	樹脂製	2個
6 吸管ロープ	10mm×10m	2本
7 消火栓金具	75mmメスネジ×65mm差込メス	1個
8 中継用媒介金具	65mmメスネジ×65mm差込メス	2個
9 消火栓開閉金具	地上式・地下式(1.0m)	1式
10 吸管スパナ		2本
11 管そう	e-ノズルフォルダー PEH-65K (セットアップキットレンチ含)	2式
12 ダブコンマークⅡ	NV-65W-Ⅱ	2式
13 ノズル	23mm・26mm	各1個
14 放口媒介金具	65mmメスネジ×65mm差込オス	4個
15 とび口	東消型TS-6027 1800	2本
16 金てこ	φ25×850	1本
17 剣先スコップ		1本
18 ホースカー	制動装置付き吹田仕様	1式
19 ホースカバー	ホースカー用	1式
20 はしご	チタン製三連はしごMTTL-377 (全伸長7.7m以上重量28kg以下)	1梯
21 車輪止	硬質ゴム製(黄色)	4個
22 消火器	自動車用(ABC粉末6kg型、リサイクルシール付)	2本
23 ポンプ工具	キャップスパナ(ハンドル付き)	1式
24 ホース65mm	プロファイター・カラーホース・リング締め 使用圧力1.6MPa・長さ20m 金具アルミ合金製(蓄光保護リング付き) 綾織・袴部分は白色で長さおおむね40cm	10本
25 タイヤチェーン	後輪シングル 金属製	1式
26 分岐管	2コック65mm用AC(ヨネ)	1個
	2コック40mm用AC(ヨネ)	2個

27	ホースブリッジ	コンパクトブリッジC B 4 5 0	1 式
28	牽引ワイヤー	ソフトカーロープ	1 式
29	照明器具		1 式
	構成品		
	(1) 発動発電機	ホンダE U 9 i (インバーター仕様) (並列キット付)	
	(2) 投光器	ヤマハ軽量2焦点型可搬式投光器 (信号付投光器型) E - 0 2 8 (予備バルブ×3)	
	(3) 三脚	E - 0 2 8 用	
	(4) コードリール	E - 0 2 8 用 3 0 m 発電機接続ケーブル含む ※蓄光ストライプケーブル仕様	
30	斧	柄 グラスファイバー製 C A 2 8	1 本
31	掛矢		1 本
32	スタンドパイプ	単口引上 800mm 差込L字接手A C (エルボー離脱式 不動)	1 本
33	特殊ノズル	ボアテックスノズル NV-40VX	2 式
34	フォームジェット	MXフォームジェット FN65MX	2 式
35	ホース 4 0 mm	プロファイター・カラーホース・リング締め 使用圧力1. 6 MP a ・長さ2 0 m 金具アルミ合金製(蓄光保護リング付き) 綾織・袴部分は白色で長さおおむね4 0 c m	5 本
36	水槽用バールキー	日之出1 2 1 型	1 本

第26 特殊取付品及び附属品

品 名	備 考	数量
1 牽引フック	前後滑り止め付き	1 式
2 I Cレコーダー		1 式
	構成品	
(1) 本体	オリンパス V-862SLV (同梱付属品) アクセサリー含む	
(2) 電子サイレン (TSK-D152・MARK-D1 (50W))	接続コード (接続コードは、ステレオからモノラル用で抵抗なしのものとする。)	
3 ホースバック	プロジェクトガン用収納袋 (ヨネ) ネーム入り	1 式
	ホース収納袋 (赤尾) ネーム入り	1 式
4 吸水用ホース	6 5 mm×5 m キンパイ使用圧力1. 6 MP a	2 本
	6 5 mm×3 m キンパイ使用圧力1. 6 MP a	1 本
5 吸水管用器具	スーパースイング	1 個
6 吸管引上金具	ヨネP R 7 5 (バンド付き)	1 個
7 空気呼吸器		1 式

構成品			
(1) 空気呼吸器	ドレーゲルセイフティー・ジャパン社製PSSAirBoss×4		
(2) 付属品	レギュレータホルダー×4 D-ring×16、BG1000ホルダー×4 Paratホルダー×4、FPS7000PEPDM (M) ×4 面体吊下用フック×4、アイピースカバー×4 くもり止め×1、プロテックスマスクバッグ×4 面体収納バッグ×4		
8 空気ボンベ	エアウォーター防災製ブルネッカー 530CⅢA90° 保護カバー、金属キャップ付	5本	
9 簡易呼吸器	パラート5510×2、ショルダーバッグ×1	1式	
10 携帯型警報機	ボディーガード1000	4式	
11 媒介金具	65mm差込メス×65mm差込メスAC	1個	
12 //	65mm差込オス×65mm差込オスAC	1個	
13 //	65mm差込メス×40mm差込オスAC	2個	
14 携帯拡声器	ノボル TS-503R (ホルダーNZ-303 付)	1個	
15 木ハンマー	径75mm	1本	
16 ストップバルブ	YONE 製 BO-65 BO-40	1式	
17 つるはし	組立式 CP-36	1式	
18 低反動泡ノズル	FNL-65・400	2本	
19 ブリッツライト放水銃	MM-65×1 ノズル (2種類) NV-65MMS×1、FN-65MMX×1	1式	
20 放水銃	クロスファイアー放水銃 マックスフォースノズル モニター本体 伸縮パイプ (450mm) ポータブルベース (固定基部) ポータブルベース収納ブラケット マックスフォースノズル用泡ノズルアタッチメント	1式	
21 クリッパー	絶縁式、切断能力7mm以上 BC-600FN	1式	
22 万能斧	トップマン	1本	
23 角スコップ	幅250mm	1本	
24 訓練旗	黒文字「訓練」ポール付き	1式	
25 サルベージシート	3m×3m ネーム入り	2枚	
26 水損防止用ポール	丸喜 (株) 製 12尺2段 (収納袋付ネームあり)	8本	
27 ガソリン携行缶	(消防法適合品) 5リットル鋼製ネジ式 (GT-5) 又は同等品	1缶	

	500cc 容器缶 (BT-500)	3 缶	
28	ホースバンド	マジックテープ式	3 枚
	OH-1 型バンド		3 枚
29	布バケツ	10ℓ	5 枚
30	携帯ライト	ストリームライト サバイバー (乾電池式・イエロー)	3 器
	ペリカンキングライト 4000		3 器
31	バックモニター	後退時に電源 ON 設定機能付き	1 式
32	ドライブレコーダー		1 式
	構成品		
	(1) 本体	Driveman PS-2 タイプ 2 (SDカード脱着式モデル)	
	(2) 付属品	SDカード (128GB×2)、可変ブラケット×1 HDMIケーブル×1、ACアダプター×1 専用複合ソフト×1、PLフィルター×1	
33	安全誘導灯	ポータ工業製 RKC-BR9	2 本
34	セフティコーン	伸縮式コーン ALF-89	4 本
35	矢印板	ポータ工業製 PYG-C2	2 枚
36	反射チョッキ	株式会社ナカネ製 カスタムメイドベスト B [吹田消防] と背中に記入 (吹田仕様赤色)	4 着
37	グラスマスター	WGM-3 サクラホース (株)	1 式
38	ハンマー	防爆ハンマー H-72FG	1 式
39	墜落防止用器具	藤井電工製 (新基準適合品) TB-GB-521-SL-OR (130kg 対応)	1 式
40	明示ステッカー	吹田市消防本部仕様 大、中、小 (各 50)	1 式
41	エッチングプレート		1 式
		車両長、幅、高さ、総重量、定員、登録番号、 最小回転半径、リヤオーバーハング、納入年月記入	
42	ロープバック	PETZL バケット S41Y35L	2 個
43	乾電池	積載品に必要とする電池	1 式
44	色水装置用ホース		1 式
45	補修用ラッカー	スプレー式及び缶入り (別途協議)	1 式
46	ステンシルプレート		
	「化学 1」「吹田消防」文字 2.0cm 角丸ゴシック	1 式	
	※耐久性に富むものとし、余白を広く曲面に対しても使用可能なもの		
47	吹田市専用消火栓キー 日之出 50 型		1 本
48	弁慶		1 本

第27 車両特殊取付品及び付属品

品名	備考	数量
1 エアコンディショナー		1式
2 音声アラーム	音声（後退、左折）切断スイッチ付	1式
3 フロアーマット	前後	1式
4 サイドバイザー	前後左右	1式
5 メインスイッチ	バッテリー用（運転席）	1式
6 ブースターケーブル24V		1式
7 スペアーキー		3本
8 ドアエッジ	全ドア	1式
9 座席カバー	飛鳥車体制（橙色）、全席	1式
10 非常用信号具等	三角停止板、発煙筒 作業灯（ジェットLEDワークライト1100ルーメン） 非常灯（ハーフルーバーLED停止表示灯）	1式
11 タイヤゲージ		1式
12 フォグランプ		1式
13 サイドミラー	2面鏡式（助手席電動格納式ワイドビュー）	1式
14 インバーター	1000W	1式
15 標準工具	工具箱付き	1式
16 マップランプ	助手席及び後部用LED式	1式
17 スペアタイヤ	アルミホイール付き、マッド&スノー	1本
18 坂道発進補助装置		1式
19 小型充電器	SA-12PW-M（七宝電子工業）	1式

第28 その他

現物支給品

次に掲げる物品は、当本部から支給するので積載方法等に注意すること。

泡消火薬剤 1式

更新前車両に積載している泡消火薬剤を当車両に積載すること。

第29 備考

1 発注台数（車両リサイクル費用含む） 1台

自賠責保険は、当本部が登録予定日の連絡を受けた後に加入手続きをする。当本部への連絡は登録予定日の30日以上前に行うこと。

また、重量税については車両登録業者から当本部へ新規登録検査後に別途請求するものとする。

2 廃棄車両の一時抹消登録等

納車後、現在使用している車両の赤色灯、サイレン等の解体撤去を行い一時抹消登録の手続きを行うこと。

また、ドライブレコーダー（配線含む）を取外し、名称表示を車体に損傷を与えないよう確実に消去すること。

前記手続き完了後は、直ちに当本部へ登録事項等証明書の写し及び解体後の写真データを電子メールで送信し、すみやかに登録事項等証明書原本を提出すること。

なお、上記に関する手順に変更が生じた場合は、別途協議のうえ当本部の指示に従うこと。

第30 問い合わせ先

吹田市消防本部 警防救急室

T E L 06(6193)1117

F A X 06(6193)0100

以 上